

やましたの「^{いっさつ}今月の逸冊」

僕が本を読む理由は、考え方・価値観を広げるため。自分の知識や知恵なんてちっぽけなものだ。広げるためには、ある程度情報のインプットが必要だ。それには本が一番投資対効果が高い。たかが1500円程度の投資で、10数倍の価値を得ることがある。それはお金だけではなく、これからの生き方として、人生の糧となる。だから僕は今日も本を読む。



君がオヤジになる前に／堀江貴文(著)

-Amazonより内容紹介-

38歳を迎える今、堀江貴文が発信する、新しい時代のための知恵とルール。経済の先行きが見えず、保守化する社会情勢の中、不安と生きづらさを抱えている20～30代。彼らが、生き抜き、突破するためには、何よりも「思考停止」しない生き方が重要だ。ビジネス術、転職、出世、結婚、子育て、生活習慣等について、「オヤジ」世代に差しかかった著者が、初めて「君」の痛みに対して向き合う。

◎面白いことだけをして、何が悪いのか？！

この本を読むと、ホリエモンをもっと非難する人は多いはずですが（笑）かなり自己中心的なこと言っていますからね。だから、全てを自分に取入れるのではなく、自分に合う部分と、新たに発見した考えだけを自分のものにすれば良いと思います。本の概要は、何人かの想定した人に対して、ホリエモンが「その考えでいいの？」と問いただし、「自分はこう考えるな」という、ある意味ホリエモンが人生相談している感じの本になっています。面白いですよ(*^_^*) 以下紹介です。

▶『思考停止状態の人が多い。ひとつひとつの事象について、徹底的に考え抜き、結論を出すプロセスを繰り返すと、思考停止に陥らなくなる。』

僕の業界なんて、思考停止状態だらけです（笑）ある意味ラッキー！！新しいことをやろうとする人が極端に少なすぎます。同世代でもそう。変に食べちゃうのがダメなんでしょう。本当に食べないくらいの状況にならないと、人間真剣になりませんからね。

▶『投資とは、自分の未来への可能性に対してお金を支払うことで、後々、形になって返ってくることは、むしろ稀だと考えるべきだ。』

「投資したら、回収すべきだ！」という考えがありますが、ホリエモンは違うようです。僕が解釈すると、『未来への投資を積極的にしろ。回収まで考えると、何も投資（行動）できなくなる』というニュアンスだと思います。このファックスで紹介する本の投資も、本当に少額でできます。しかし、その投資をする人は数パーセントだと思います。

▶『この国では、やりたいことに軸が無いヤツは、ダメだと言われる傾向がある。なぜだろう？その軸が「ただ面白いことをしたい」では、いけないのだろうか？』

僕もこの意見には大賛成です(*^_^*) だって面白くないことしたくないし（笑）皆さんが今、面白くない仕事をしていたら、後々確実に後悔するでしょう。僕から言われなくても分かりますよね。僕は後悔したくないから、面白いものには飛びつく！精神で何でもやっています。別にそれが成功する、しないは構わないんです。死なない程度に楽しく、面白くやるだけです(^_^)v

最後にホリエモンのこの言葉で締めたいと思います。『死ぬことを考えたら、大勢の人に笑われるのなんて平気じゃないの？（だから、面白いことして生きようよ！）』カッコ書きは山下言葉です。この判断基準は、僕は好きですね(^O^)/